

BND&Sから資金調達 生産能力増強と自動化改善へ

ブラジル国内のビール消費が2013年に勢いを失ってはいないものの、ブラジル・キリン(旧スキカリアール)は、親会社のキリン・ホールディングスと国立経済社会開発銀行(BND&S)から資金を調達することで国内の成長戦略を継続する。

既存の工場拡充がメイン

キリン・ホールディングスに資金を投入する。ブラジル・キリンは、2012年の配当の受け取りを放棄する。オ・マルチオリ財務担当の副社長が明らかにした。同社はノヴァ・スキ

14年までに10億レ投資



伯國のキリンの工場

とデヴァツサなどのビール、その他、スキソとイコウバインといった清涼飲料水を展開、生産能力の増強と自動化の改善に向けて、機械・設備のサプライヤーと5億レアルの契約を交わした。この金額には、セアラ州における風力発電パーク建設に向けた5千万レアルの投資も含まれる。2014年までに同社は、さらに5億レアルの投資を見込む。現時点では、既存の工場の拡充を図っており、新規工場には投資していない」と同副社長は言う。

TLSAの工事から撤退 金額承認引上げ遅れにより

工事の中断と従業員との見解の相違と仲裁裁判を経て、建設会社オーデブレヒトとナショナル製鉄会社(CSN)傘下のトランステイカ(TLSA)は、建設工事に関する契約を破棄した。トランステイカは他の建設会社に対して建設の請負を打ち断り、これを並行して事業予算を75億レアルに引き上げるべく連邦政府と交渉中。CSNは、連邦政府に対して90日以内で工事再開するとしている。他方、オーデブレヒトは一部の区間で工事の最終段階にあると受け止めている。CSNは、鉄道事業が立ち上げられた2005年に、当時45億レアルを見込んでいた工事費に25%の承認引上げ遅れを理由として資本参加を断り示していた。北東部開発基金(FDN)が営繕に見舞われている。

ドイツが代替プラン 売却は圧延工場の方針

ドイツのテイッセングループ・グループが、米アラバマ州の圧延工場のみを売却する方針に傾いている模様。業界関係者は、売却相手は、ナショナル製鉄会社(CSN)になる可能性が高い。

テイッセングループは、当初の見通しで、アラバマ州の圧延工場を売却し、約1億ドルの負債12億ドルを減額されることになった。CSAに73%

テイッセングループは、当初の見通しで、アラバマ州の圧延工場を売却し、約1億ドルの負債12億ドルを減額されることになった。CSAに73%の出資するテイッセングループと、27%を出資するCSA売却に関する意見が対立していることが原因。同じ業界関係者によると、16億ドルでCSAを売却することは、5億ドルの損失となる。しかし、ここから、国立経済社会開発銀行(BND&S)に対する負債900万ドルと、テイッセングループへの負債12億ドルを減額されることになった。これに伴い、CSAは、冶金コークスのフル生産体制を継続し、国内外の市場でこれを販売す

と、小売販売が勢いを失っていることなどが、交渉の阻止に挙げられる。工業部材となる、ドリル刃などの問題は、ブラジル市場で、凍結されている。だが、価格調整の動きは、既に始まっている。例え、年末に需要が拡大するメッセジカードと相まって、想定以上の露出度であったが、この露出効果は、少なくとも大きくはなかったようだ。自動車業界は、少なくとも大きな影響は受けていない。その中で、気候変動に伴う損失を最小限に抑制するのが目的で、Zooニングの目的は、これを修正を加えて新

の製造が前年同月比で50.1%回復したことが、決定的な役割を果たした。同様に比較して乗用車と小型商用車は、わずかに0.5%の増加にとどまった。2012年に低公害車(Anfavea)の導入で15%値上がりし、製造が40%落ち込んだ。2013年1-8月期の製造台数が前年同期比13.7%増に達していること、これまで4.5%増と見られていた見通しを、11.9%増に引き上げた。実際にこの予想通りに推移すれば、国内の製造台数は年間379万台に達することになる。(6日付掲載)

課外ではないものの、同社はブラジル国内で買取を展開することについても前向きに検討している。ブラジル・キリンは、2012年12月に執行した配当3億1600万レアルを資産に計上することを検討している。さらに支払いを先延ばしすることも、取締役会で検討中だ。いずれのケースでも、ブラジル・キリン自身が事業で生み出したキャッシュ

が、3交代制に移行し、2012年末に操業を開始した同工場は、既に開始150万台の生産能力をフルに使って稼働している。今回の判断に伴い、同社は、残業を減らして車両の製造に当たる。3交代制に移行すること、従業員数は2700人に拡大する。(3日付掲載)

が、価格調整の動きは、既に始まっている。例え、年末に需要が拡大するメッセジカードと相まって、想定以上の露出度であったが、この露出効果は、少なくとも大きくはなかったようだ。自動車業界は、少なくとも大きな影響は受けていない。その中で、気候変動に伴う損失を最小限に抑制するのが目的で、Zooニングの目的は、これを修正を加えて新

に、同社は、残業を減らして車両の製造に当たる。3交代制に移行すること、従業員数は2700人に拡大する。(3日付掲載)

に、同社は、残業を減らして車両の製造に当たる。3交代制に移行すること、従業員数は2700人に拡大する。(3日付掲載)

に、同社は、残業を減らして車両の製造に当たる。3交代制に移行すること、従業員数は2700人に拡大する。(3日付掲載)

に、同社は、残業を減らして車両の製造に当たる。3交代制に移行すること、従業員数は2700人に拡大する。(3日付掲載)

に、同社は、残業を減らして車両の製造に当たる。3交代制に移行すること、従業員数は2700人に拡大する。(3日付掲載)

ファイリックスが、5千万ドルを投資し、タブレット型PCをブラジルの国内で製造する。この計画は、マナウス自由貿易地区監督庁(Sufram)に提出済み。この計画によると、同社は、78人を雇用する事業所を確保する。この問題について同社は、ノーコメントとしている。ファイリックスのサイトでは、同社が2011年最初のタブレット型P

ファイリックスが、5千万ドルを投資し、タブレット型PCをブラジルの国内で製造する。この計画は、マナウス自由貿易地区監督庁(Sufram)に提出済み。この計画によると、同社は、78人を雇用する事業所を確保する。この問題について同社は、ノーコメントとしている。ファイリックスのサイトでは、同社が2011年最初のタブレット型P

ファイリックスが、5千万ドルを投資し、タブレット型PCをブラジルの国内で製造する。この計画は、マナウス自由貿易地区監督庁(Sufram)に提出済み。この計画によると、同社は、78人を雇用する事業所を確保する。この問題について同社は、ノーコメントとしている。ファイリックスのサイトでは、同社が2011年最初のタブレット型P

ファイリックスが、5千万ドルを投資し、タブレット型PCをブラジルの国内で製造する。この計画は、マナウス自由貿易地区監督庁(Sufram)に提出済み。この計画によると、同社は、78人を雇用する事業所を確保する。この問題について同社は、ノーコメントとしている。ファイリックスのサイトでは、同社が2011年最初のタブレット型P

